

令和2（2020）年度大学院教育学院博士後期課程入学者入学試験問題

学科試験（英語） 教育方法学

（100点満点）

問題1と問題2をすべて解答しなさい。

問題1 次の英文について、問1から問4を日本語で答えなさい。

問1 下線部(1)が満たすべきことを説明しなさい。

問2 下線部(2)と下線部(1)の違いを説明しなさい。

問3 下線部(3)について、“multiple choices”への批判と著者の主張を説明しなさい。

問4 下線部(4)と(5)をどのように使い分けるのかを説明しなさい。

(問題2は次のページ)

問題2 次の英文について、問1から問3を日本語で答えなさい。

出典 National Association for the Study of Educational Methods ed. (2011): *Lesson Study in Japan*.
KEISUISYA. pp. 67 - 69.

問1 下線部(a)が下線部(b)についてどのように批判し、何を提案したか説明しなさい。

問2 下線部(c)は何を重視しているのか説明しなさい。

問3 下線部(d)の特徴を述べなさい。

令和2（2020）年度大学院教育学院博士後期課程入学試験問題

学科試験（英語） 教育行政学

（100点満点）

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 次の英文は、アメリカのシカゴの教育改革について取り上げた文章の一節である。これを読んで、以下の4つの質問に日本語で答えなさい。（解答用紙に問題番号を明記のこと）

- （1）著者は、チャータースクールは2つの文脈に置かれた矛盾した存在と述べているが、その2つの文脈とは何か。またその内容について概要を説明せよ。
- （2）シカゴの企業型チャータースクールでは教員はどのような働き方をしているか、またそのような働き方が生じるのはどのような理由によると著者は述べているか、説明せよ。
- （3）1990年代のシカゴでは、企業型チャータースクールが多数であったが、それ以外に多様なチャータースクールがあったとして、著者は1つ、例をあげている。具体的にどんな学校か、説明せよ。
- （4）著者は、ネオリベラル改革によってチャータースクールの教師たちが「モラル・ジレンマ」に陥っていると述べている。それはどのようなものか、説明せよ。

出典 : Sharon Gewirtz, Pat Mahony, Ian Hextall, Alan Cribb (eds.), *Changing Teacher Professionalism: International trends, challenges and ways forward, 1st edition*, London: Routledge, 2009, pp.75-77

注 : NCLB は No Child Left Behind Act of 2001 (どの子ども置き去りにしない法) の略である。

令和2（2020）年度大学院教育学院博士後期課程入学者入学試験問題

学科試験（英語） 学校史

（100点満点）

以下の問題文を読み、問題1と問題2の両方に答えなさい。

問題1 枠囲み①を日本語に訳しなさい。

問題2 枠囲み②を日本語に訳しなさい。

問題文

①

②

出典 Gordon, Warner. (1972), *History of Education in Postwar Okinawa*, Tokyo: Nihon Bunka Kagakusha, pp. 13-15

evacuate 避難させる、避難する

3000-odd 3000 あまりの

Lieutenant General 中将

atone 償いをする

on-island 島内

令和2（2020）年度大学院教育学院博士後期課程入学者入学試験問題

学科試験（英語） 教育思想

（100点満点）

問題 次の英文を読み、後の1～5に答えなさい。

(出典 : *Dictionary of History of Ideas: Studies of Selected Pivotal Ideas*, Vol. III, Ph. Wiener editor in chief, Charles Scribner's Sons, New York, 1968・1973, pp.469-470. 一部改変)

(注記)

Pelagius: Christian theologian(ca.354－ca.420/440);

startle: surprising and sometimes worrying;

mould: to make a soft substance a particular shape;

reprobation: act of expressing or feeling strong disapproval;

underpin: to give support, strength or a basis structure to something;

malleable: easily trained or adapted;

through-and-through: in all parts, completely;

despot: ruler with unlimited powers, especially one who use these powers wrongly or cruelly;

- 1 下線部 (ア) を日本語に訳しなさい。
- 2 下線部 (イ) を日本語に訳しなさい。
- 3 下線部 (ウ) について、出題文を踏まえながら英語で論評しなさい (5行程度)。
- 4 下線部 (エ) のように指摘されるが、どういうことか日本語で説明しなさい。
- 5 この出題文に英語でタイトルを付けなさい (5語程度)。

令和 2(2020)年度大学院教育学院博士後期課程入学試験問題

学科試験(英語) 社会教育学

Community Education :

(100点満点)

以下の文章を読んで、日本語で質問に答えなさい。

Read the following text and answer the questions in English.

出典 (Source) : Margeret Ledwith(2005); *Community Development*, A
BASW/Policy Press, pp.5-9.

問1 “good practice” と “critical approach” の違いについて述べなさい。

Q1: What is the difference between “good practice” and “critical approach” ?

問2 “good practice” を超える実践を展開するために、コミュニティ・ワーカーはどうすればよいのか、著者の見解に言及しつつ、あなたの見解を述べなさい。

Q2: What should community workers do in order to go beyond “good practice”? Explain your idea, referring to the author’s claim.

Notes:

unabated : 衰えていない、弱らない

propensity : 傾向、性癖

tokenism : 申し訳程度の努力

令和2(2020)年度年度大学院教育学院博士後期課程入学試験問題
学科試験(英語) 教育福祉論

(100点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 以下の英文を和訳しなさい。

(出典 Child Poverty Action Group ホームページ (<https://cpag.org.uk/>))

問題2 以下はNHK World Japanの記事である(2018年3月12日)。この記事の内容に適宜言及し、里親制度の現状と課題について日本語で論述しなさい。

出典 NHK World Japan 2018年3月12日

<https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/backstories/123/>

令和2（2020）年度大学院教育学院博士後期課程入学者入学試験問題

学科試験（英語） 言語発達論

（100点満点）

Question

Summarize the role of “the fundamental conflicts of the phenomenon” (underlined part) in children’s knowledge acquisition, based on the context of the passage (no word limit).

In addition, use the following words ; “empirical knowledge”, “theoretical knowledge”

(You may answer the question in English.)

(Source: Hedegaard, M. (1990). The zone of proximal development as basis for instruction. In L. C. Moll (Ed). *Vygotsky and education: Instructional implications and applications of sociohistorical psychology*. Cambridge, UK: Cambridge University Press. pp.349-371.)

令和2（2020）年度大学院教育学院博士後期課程入学者入学試験問題

学科試験（英語） 学習神経心理学

（100点満点）

以下の問題のすべてに日本語で答えなさい。

問題1 次の英文を読んで、以下の問1～問2に答えなさい。

(出典 : Hulme C & Snowling, M.J, *Developmental Disorders of Language Learning and Cognition*, Wiley-Blackwell, 2009, pp.19-21)

問1 下線部①のようなアプローチと「発達的アプローチ (Developmental approach)」の違いは何か。簡潔に説明しなさい。

問2 筆者が下線部② “Developmental disorders require a developmental approach to understanding them” と主張するのはなぜか。本文全体の内容を踏まえて説明しなさい。

問題2 次の英文を読んで、以下の問1～問2に答えなさい。

(出典: Dehaene S, Reading as Neuronal Recycling, in *Dyslexia Across Languages*, Paul H Brookes Publishing Co, 2011, pp.102-103)

- 1) 下線部① "Neural recycling hypothesis" はどのようなものか。簡潔に説明しなさい。

- 2) 下線部② "The neuronal recycling model solves this paradox" とはどのようなことか。
この矛盾 (this paradox) が何かを明確にした上で説明しなさい。

令和2(2020)年度大学院教育学院博士後期課程入学者入学試験問題
学科試験(英語) 身体文化論

(100点満点)

以下の問題にすべて答えなさい。

問題1 以下のAの文章を読んで問1、問2に答えなさい。

A

出典: Francis M. Kozub, "Adapted Physical Education", in: David Levinson & K. Christensen, eds., *Encyclopedia of World Sport*, vol.1, Great Barrington, Massachusetts, U.S.A.: Berkshire Publishing Group, 2005, p.5.

註1) the Individuals: 個別研究 註2) children with disabilities: 障害のある子どもたち

問1 下線部1)は、「障害教育法が体育に言及していることを示す今日的な個別研究において、2つの拠り所となる前提two foundational premisesが不可欠な役割を果たしている」と述べている。その2つの前提について述べている箇所を要約し、それぞれ日本語で説明しなさい。

問2 下線部2)の主張について、日本語でわかりやすく解説しなさい。

問題2 以下のBの文章を読んで問1、問2に答えなさい。

B

出典: J. Harvey, J. Horne, P. Safai, S. Darnell and S.C-O'Neil, *Sport and Social Movements: From the Local to the Global*, London: Bloomsbury, 2014, p.52.

問1 下線部A)は「グローバルな女性とスポーツに関する“社会的運動”はその複雑性、幅広さ、奥行きといった条件を勘案すれば、容易い問題ではない。・・・」と述べ、以下、具体例を提示している。その具体例について下線部Aの中身を要約する形で、日本語で答えなさい。

問2 下線を引いた本文中の(1)、(2)、(3)の意味をそれぞれ日本語で示しなさい。

令和2（2020）年度大学院教育学院博士後期課程入学者入学試験問題

学科試験（英語） 身体教育学

（100点満点）

以下の問題にすべて答えなさい。

問題1 次の英文は、文部科学省（2008）『小学校学習指導要領』の体育目標について書かれたものである。英文の内容を日本語で説明しなさい。

出典：MEXT(2008), Section 9 Physical Education. Courses of Study for Elementary School, https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2009/04/21/1261037_10.pdf

問題2 次の英文を読み、問1～2に日本語で答えなさい。

出典：Daryl Siedentop(1983), *Developing teaching skills in physical education* (2nd ed.). USA: Mayfield Pub. Co., pp.18-20.

註) “carry-over” values：現実生活に持ち込まれる一般的価値

問1 下線①で提案された3つのアセスメントカテゴリー（教師の教授過程変数 teacher process variables、生徒の学習過程変数 student process variables、生徒の学習結果・成果変数 student outcome variables, or student product variables）の概要を、本文の内容に即しながら具体例を含めて説明しなさい。

問2 下線②を日本語でわかりやすく説明しなさい。

令和2（2020）年度大学院教育学院博士後期課程入学試験問題

学科試験（英語） 発達臨床論

（100点満点）

以下の問題のすべてに日本語で答えなさい。

問題1 下記の英文の下線部①を日本語訳せよ。

問題2 下記の英文の下線部②を日本語訳せよ。

問題3 下記の英文の下線部③を日本語訳せよ。

出典 : Howlin, P. & Magiati, I. (2017) Autism spectrum disorder: Outcomes in adulthood.
Current Opinion in Psychiatry, 30, 69-76.